

達人リコメンドの四国(続・四万十川編)

1、源流(高知県津野町)

最後の清流「四万十川」。昨年は、窪川から下流を旅しましたが、今年は不入山(いらずやま)の源流から窪川までの上流域を探検しました。



噂では、源流点は水がチョロチョロ流れているだけで、これを記した白い木の杭が立っているだけの場所と聞いていましたが、季節はずれの大雨により増水。源流の石碑付近に車を停めて、マイナスイオンを全身に浴びて苔生す神聖な道を進み、川の流れて沿って小路を登ります。開けた場所に出て、左から豊富な水量の滝が流れる。右前方には道標が見えますが、目の前の早瀬を渡らなければ目的地には到達できません。渇水期ならヒョイヒョイと石の上を越えられますが、残念ながら、ここで進むのを断念。



「源流なんてのは、神域ゆえ簡単に発見できないのさっ！」

まあ、須崎で高速を降りて1時間程度で来れる場所だし、観光大国・高知県だけあって行き先表示の道標もしっかりしていますから、再チャレンジしてみようと思っています。

2、沈下橋(高知県中土佐町他)

源流から川の流れて沿って駒を進める。稲葉洞、道の駅「布施ヶ坂」などがあって、本流をたどれば、山深く人里離れたV字の谷の下を流れて人を寄せ付けません。

津野町から、中土佐町に入れば、最初の沈下橋(高樋橋)が県道から見える。昭和40年架橋という橋歴表示があって、我々と同じ1960年代生まれなどと思えば愛着もわきます。沈下橋は、高欄や親柱もなく増水すればそのまま川の流れて身を任せます。四万十川流域全体で約60ヶ所あるそう

で、最長は最も下流にある今成橋(佐田沈下橋)で、高知県で最古のものは、もうひとつの清流・仁淀川に架かる久喜橋だそうです。



ルーツとなるのは、支川の北川川に架かる早瀬の一本橋で、増水すればワイヤーでつないだ丸太の橋桁が流れる構造で、普通の状況に戻れば再生するから流れ橋と呼ばれています。橋は対岸との文化を融合させる効果がありますが、この橋を渡ると津野山神楽が開催される諏訪神社へのアクセス道路という役目も果たします。



高知県では沈下橋を観光資源として大切に扱っていますが、支川の一つ広見川の葛川の沈下橋は悲しい状態です。生活道路として新しい橋が架設されて、かつて渡っていた橋桁は流されたままで復活する可能性もありません。この橋がある位置が、高知県でなく愛媛県松野町だからでしょうか？



いずれにせよ、四万十川と言えば沈下橋。川の流れに沿って走れば、そんな日本の原風景にノスタルジーを感じます。

3、松葉川温泉(高知県四万十町)

今年の旅の目玉は、松葉川温泉。四万十川の支川の一つ日野地川の溪谷に位置する温泉は究極の天然。



人里離れた清流のほとりで静かに川の流れる音を聞いて、新緑の緑と清流が眺められる露天風呂に浸かって、海の幸(カツオのタタキ)・山の幸(山菜)・川の幸(子持ち鮎の塩焼き)を味わい、四万十の土と水の幸・仁井田米の香りで食欲は最高潮。

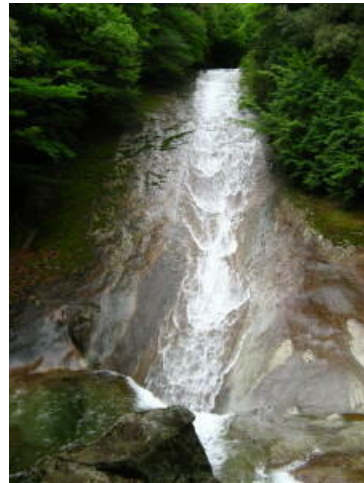
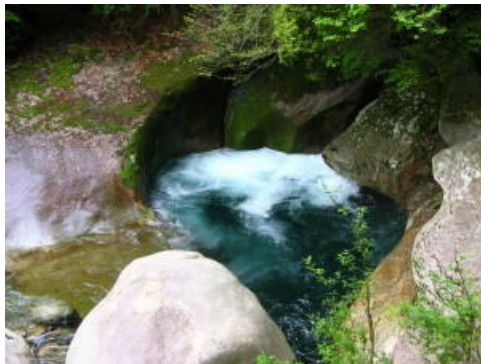
自然を五感で感じて「シ・ア・ワ・セ・・・！」ってのが、感想。
達人リコメンドの癒し空間に勝手に認定したいと思います。

4、滑床溪谷(愛媛県宇和島市)

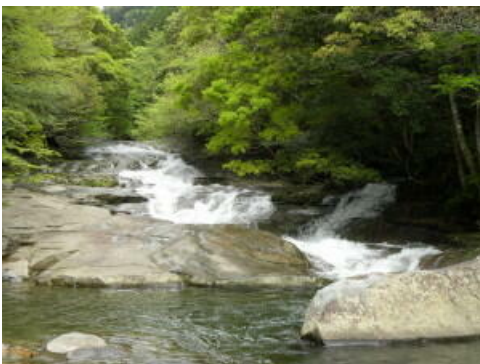
窪川から四万十川の流れに沿って、国道381号を西に進む。沈下橋や川を渡る鯉のぼりを眺めて、平家落人伝説が残る半家から江川崎の赤い鉄橋で本流とお別れして、宇和島方面に進路を変えます。

目指す場所は、滑床溪谷(なめとこけいこく)で、天然のウォータースライダーがある溪流です。

森の国ロッジの駐車場に車を停めて、ネイチャーウォーキングのスタートです。万年橋から見る水量豊富な滝、しめ縄の架かる鳥居岩に岩間を滑らかに流れる清流。深呼吸して、水に触れて、大自然を満喫して、出会橋、出会滑、富士滑とガイドマップに従って、目黒川の右岸側を進みます。



遊仙橋を渡って左岸側を進めば岩ゴロゴロの百岩、クライマックスは、日本の滝百選の肩書を持つ最高のウォータースライダー「雪輪ノ滝」とエメラルドグリーンの落合淵。展望台から滝を眺めて、途中の橋を渡らず左岸側のコースで、流れる音を聞きながら万年橋に戻ります。今回は季節外れの大雨の影響で水量が多く、迫力のある風景を見せて貰えたようです。



マイナスイオンを全身に浴びて、途中で弁当を広げ、ゆっくりと歩いて約2時間。野生のサルに注意なんて看板が出ていましたが、遭遇することなく無事に歩き終わりました。

また、滑床溪谷を流れるこの目黒川の水も清流・四万十川に注ぎます。

2012年ゴールデンウィークの旅は、清流・四万十川にこだわってみました。自然が相手ゆえ大雨の影響で良い事・悪い事もりましたが、本流・支流と素晴らしい顔を見せて貰いました。

達人リコメンドの清流「四万十川」・また来ませ！！



平成24年5月13日記(旅は5月3日～6日)

Top
トップ
↑

Back
戻る



[達人リコメンドの四国\(続々四万十川編\)](#)